

表12 2007・2008年度 都城発掘調査部(平城地区)発掘調査一覧

調査回数	地 区	遺 跡	調査期間	面 積	調 査 地	担当者	調査要因	掲載頁
(2007年度)								
429次	6AAG-I・6AAF-J・K	平城宮東方官衙地区	2008.1.11~5.7	1314㎡	奈良市佐紀町	今井晃樹	学術調査	128
430次	6BFO-C	法華寺旧境内	2008.1.7~1.25	60㎡	奈良市法華寺町	大林 潤	住宅建設	142
433次	6BKK-N	喜光寺境内	2008.2.18~3.12	204㎡	奈良市菅原町	加藤雅士	復原整備	152
(2008年度)								
431次	6ABR-E・6ABSD	平城宮第一次大極殿院	2008.4.1~6.26	632.5㎡	奈良市佐紀町	森川 実	学術調査	112
432次	6ABR-E・F	平城宮第一次大極殿院	2008.4.12~10.22	936㎡	奈良市佐紀町	森川 実	学術調査	112
434次	6AFF-J	平城宮左京二条二坊五坪	2008.5.7~6.16	112㎡	奈良市法華寺町	山本 崇	建物建設	156
435次	6BFK-I	法華寺旧境内	2008.6.16~6.17	11㎡	奈良市法華寺町	島田敏男	住宅建設	146
436次	6ABQ-G	平城宮第一次大極殿院	2008.6.26~11.18	879.5㎡	奈良市佐紀町	和田一之輔	学術調査	112
437次	6ABQ-H	平城宮第一次大極殿院	2008.7.1~11.26	397㎡	奈良市佐紀町	今井晃樹	学術調査	112
438次	6ABO-H・6ABP-I	平城宮第一次大極殿院	2008.9.24~12.22	547㎡	奈良市佐紀町	大林 潤	学術調査	112
439次	6AED-H	興福寺旧境内	2008.7.1~8.11	19.5㎡	奈良市花芝町	西口壽生	住宅建設	148
440次	6AAF-J	平城宮東方官衙地区	2008.11.19~2009.2.6	255㎡	奈良市佐紀町	今井晃樹	学術調査	128
441次	6AGF-P	平城宮右京三条一坊十五坪	2008.8.18~8.29	42㎡	奈良市二条大路南	浅野啓介	住宅建設	110
442次	6BFK-I	法華寺旧境内	2008.9.1~9.25	101㎡	奈良市法華寺町	西口壽生	住宅建設	146
443次	6AFC-F	平城宮左京一条二坊十坪	2008.9.24~10.1	12㎡	奈良市法華寺町	浅野啓介	住宅建設	110
444次	6AAN-C	平城宮内裏北外郭北方	2008.10.6~10.20	66㎡	奈良市佐紀町	加藤雅士	住宅建設	110
445次	6ASB-J	平城宮北方遺跡	2008.11.4~11.5	9㎡	奈良市佐紀町	国武貞克	住宅建設	155
447次	6ASB-J	平城宮北方遺跡	2008.10.22~10.29	18㎡	奈良市佐紀町	国武貞克	住宅建設	155
448次	6AGF-H・G	平城宮右京三条一坊八坪	2009.1.6~3.23	1100㎡	奈良市二条大路南	林 正憲	建物建設	160
449次	6AFC-H	平城宮左京一条二坊九坪	2009.1.13~1.19	28㎡	奈良市法華寺町	馬場 基	住宅建設	110
450次	6AED-B	平城宮左京三条六坊十二・十三坪	2008.12.2~12.17	20㎡	奈良市角振町	加藤雅士	建物建設	150
451次	6BYS-I	薬師寺旧境内	2009.3.3~3.9	6㎡	奈良市西ノ京町	馬場 基	防災工事	110
452次	6ABA-E	平城宮大膳職北方	2009.1.26~1.27	9㎡	奈良市佐紀町	馬場 基	建物建設	110
453次	6AGF-Q	平城宮右京三条西一坊大路	2009.2.2~2.3	12㎡	奈良市二条大路南	鈴木智大	住宅建設	110
455次	6ASA-L	平城宮北方遺跡	2009.3.16~3.18	58㎡	奈良市山陵町	鈴木智大	住宅建設	110

表13 2008年度 都城発掘調査部(平城地区)小規模調査の概要

調査回数	遺 跡	調査の概要
441次	平城宮右京三条一坊十五坪	主な検出遺構は現存地形図掲載の12~13世紀以前の畦、中世の柱穴1基(柱が現存)、鉄滓や12~13世紀初の瓦器を含む土坑、これらよりも古い幅12m以上の流路などがある。
443次	平城宮左京一条二坊十坪	検出遺構は柱穴3基、土坑4基、現代の石垣。土坑出土の遺物は古代のものがほとんどだが、いずれも上層からの検出で古代に掘られたと考えられるものは少ない。
444次	平城宮内裏北外郭北方	住宅新築工事に先立つ発掘調査。調査区北北部で整地層および柱穴、土坑、落ち込み状遺構を各1基検出した。いずれも奈良時代前半のものとみられる。なお市庭古墳に関連する遺構・遺物はみつからなかった。
449次	平城宮左京一条二坊九坪	現地表面から約90cm下で遺構を検出した。主な検出遺構は掘立柱柱穴3基がある。柱穴の掘方は、一辺1m程の隅丸方形で柱間寸法は約2.7m(9尺)。建物の東北隅部にあたと考えられる。出土遺物は、瓦・土器などが出土した。奈良時代の遺構と考える。
451次	薬師寺旧境内	若宮社付近の調査では、現地表面から40cmほど下で近世遺構の整地土、90cm下である時期(中世)の表土、120cmほど下で穴の中に石を確認した。石の掘方からは瓦器が出土した。180cmほど下で古代と考えられる面に達する。出土遺物は瓦(古代~近世)、土器(古代・中世)など。特に瓦は量が多い。
452次	平城宮大膳職北方	現地表面から約70cm下で遺構を検出した。検出面は地山とみられるよくしまつた砂礫層(一部粘土が混ざる)。顕著な遺構は確認できなかった。出土遺物は土器・瓦などがある。
453次	平城宮右京三条西一坊大路	東西6m、南北2mの調査区を設定した。現地表面から約1.3m下で、秋篠川の氾濫による堆積と考えられる青灰砂質土層を確認。その下、黄褐色粘土層(現地表面から約1.5m下、標高65.85m)まで掘削したが、顕著な遺構、遺物はなかった。
455次	平城宮北方遺跡	東西6m、南北3mの南区、東西10m、南北4mの北区を設定した。南区では、現代耕作土の直下で地山を確認。顕著な遺構、遺物はなかった。近年の削平を受けていると考えられる。北区では、現代耕作土の直下で赤褐色土層を確認。近現代のものと思われる東西溝1条を検出した。東西溝の埋土からは年代不明の土器片が一点出土した。

表14 2008年度 都城発掘調査部(平城地区)現場班編成 ※総担当者

	考古第1	考古第2	考古第3	遺 構	史 料
春	国武貞克(研修)	※森川 実	深澤芳樹	島田敏男	山本 崇
夏	※和田一之輔	西口壽生		高橋知奈津	浅野啓介
秋	国武貞克	加藤雅士	今井晃樹	※大林 潤・鈴木智大(研修)	渡辺晃宏
冬	難波洋三		※林 正憲	鈴木智大・高橋知奈津(研修)	馬場 基
総括	副所長 山崎信二	中国担当 城倉正祥		写真担当:牛嶋茂 中村一郎	